

「総合開・閉会式会場」の選定に向けた意見交換について

スポーツ課 国体準備室

項目	「第1回」総務企画専門委員会委員意見	「第2回」総務企画専門委員会委員意見
開催日	平成30年3月20日	平成30年6月8日
討 論 形 式 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本体育協会が定める施設基準 ・ 先催県の総合開・閉会式会場の現状 ・ 総合開・閉会式会場選定基本方針（長野県） ・ 開催基本方針（長野県） ・ 求められる会場周辺の環境 等 <p>を考慮し、委員による意見交換を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月20日の専門委員会が出された意見 ・ 総合開・閉会式会場選定基本方針（長野県） ・ 日本体育協会が定める施設基準 ・ 先催県の総合開・閉会式会場の現状 ・ 松本市他からの要望書 ・ 長野市からの提案書 等 <p>を考慮し、改めて委員による意見交換を実施</p>
意見 内 容 (要旨)	<p>○ レガシーの尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やまびこ国体は、松本平広域公園で行われ、<u>レガシーとして、様々なスポーツイベントが開催されるなど、県民、地域の方々の生涯スポーツの振興に寄与している。</u> <p>○ 県有施設の活用・陸上競技場での実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先催県では殆どが県有施設を使用しているため、<u>県の施設中心に検討していく方向が良い</u>と思う。 ・ 陸上競技は会期が最後まであるため、<u>閉会式への参加という観点から陸上競技場を使う方向が良い</u>と思う。 <p>○ 全国障害者スポーツ大会（国体開催後引き続き開催）からの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>閉会式には全選手が参集することが条件</u>であるため、<u>競技会場地市町村から選手がスムーズに集まることのできる場所を考えると、県の中心部が良い</u>のではないかと思います。 ・ 国体と同様に陸上競技参加者数は多く、<u>競技も最終日まで行われるため、身体・知的の障がい者の方の移動等を考えると、開・閉会式は陸上競技場で行われる方が良い</u>のではないかと思います。 	<p>○ 陸上競技場での実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合開・閉会式会場は、同一会場で行うことが先催県の状況からも望ましい。また、先催県はほとんどが<u>陸上競技場で行っている。</u> ・ 運営上、会期が最終日までである<u>陸上競技を中心とした選手等が閉会式に参加しやすい競技場を総合開・閉会式会場にすることが合理的である。</u> <p>○ アスリートファーストの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開・閉会式会場から、<u>宿舎・各競技会場地市町村への移動時間ができるだけ少なく、全県から集まることのできる場所として松本の陸上競技場が相応しい。</u> ・ 全国障がい者スポーツ大会の閉会式は<u>全ての人が集まるため、広域で競技を行う場合、集まりやすい場所を条件とすることが理想である。</u> <p>○ レガシーの尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回大会から引き継がれているレガシーに加え、<u>地域や文化的行事の実施、次世代の選手育成など将来的なスポーツ振興に寄与していく施設（後世に業績として評価されることを期待できる施設）として、様々な付加価値を与えていくことも重要である。</u> ・ <u>レガシーを軸にして検討することが理想である。</u>